

県退教協だより NO. 78

長崎県退職教職員等連絡協議会
長崎市筑後町二一 教育文化会館
☎〇九五―八二二―五一九五

戦争法不服従の意思統一を！

九・一九は「いけんの日」

一月二二日、県退教連第二五回合同学習会を開催。

- ・長崎会場(午前) 〓県教育文化会館(41名参加)
- ・大村会場(午後) 〓大村市民会館(45名参加)

※情勢報告…中山士郎・県退教協事務局長
「年金・介護・医療・税金と安保法案」

※講 演…西澤 清・日退教会長
「安保法案の本質と実働阻止 および平和への道筋」

私たちの年金積立金(154・5兆円)が政権の経済成長政策遂行のために、運用されて、リスク性の高い株式や外国債券の比率が大幅に引き上げられたことは許しがたい問題である。
安倍政権の傀儡子：「日本会議」と解釈改憲の経過と背景、米国のアジア従属する日本の内実について、問題点を認識できた合同学習会であった。――街へ出よう！行動しよう！発言しよう！――

【活動報告】

離島国境の島でも黙ってはいない

県退教五島支部長 平田 昌一

★上五島と下五島で、それぞれ毎月九の日に反核座り込みをしている。上五島では教職員関係者が主導しているが、下五島では、連合地協が主導している点が違う。その連合地協が八月七日に開催した平和講座の講師をつとめたのが、退教協事務局次長の柘田重忠さんである。彼はその前日の六日、新上五島町で「原爆・戦争展」の実行委員長をやりとげたばかりであった。

★県教研の平和教育分科会の共同研究者でもある柘田さんは、長年温めていた「原爆・戦争展」を発案、企画した。まずは会場をおさえるために、管轄している町役場に計画書や資料等を添えて使用許可を折衝。この時、全面的にバックアップすることから退教協のメンバーも同行。後日、使用許可はおりたものの、八月九日には或る団体がアリーナを使用することになっており、口ビー周辺が混雑するとの判断から六日に実施することに。

日程や内容のほとんどを柘田さんが練り上げていったが、企画を成功させるために必要な経済的な面や準備・実行の面から退教協、退女教、五島総支部、町内平和運動

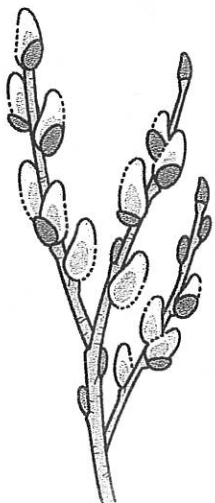
センター等の後援・賛同を得て協力してもらうことに。
開催ポスター作成を退教協のメンバーが手がけ、教育関係者や知人等を通じて広報活動を展開。また、経済的にはやや負担となつたが、会場の近隣地区に新聞折り込みチラシを配って地域住民への周知につとめた。

- ★当日実施した内容を列挙すると、
- 一、被爆したヒロシマ・ナガサキの惨状を伝える写真の展示
 - 一、「はだしのゲン」等のテレビ視聴
 - 一、絵本「ヒロシマのピカ」を退女教のメンバーが読み聞かせ
 - 一、原爆、戦争、人権に関する写真集や漫画等の展示
 - 一、ふせん(不戦)トンポの作成

★ふせんトンポとは、竹トンポをヒントにふせんとつまようじを組み合わせて制作したもの。子どもたちには、けっこう好評だった。

関係者を除いて、八十人ほどの入場者がいた。
★初めての開催に手応えを感じた柘田さんは、もう来年の構想を練っている。

退教協、退女教もうかうかしておれない国境離島新法(案)なるものが、正体を見せないまま、まことしやかにうごめいている



《活動報告》

長崎市退女教

たより

長崎市退女教・会長 楠本 礼子

▼こんな総理や議員たち誰が選んだ？

政・司法のそれぞれ独立した機関に担当させ相互に抑制・均衡をはかることによつて、権力の濫用を防ぎ、国民の権利・自由を確保しようとする原理。」

改めて辞書を引いてみるまでもなく、私たちに数十年前たり前のこととして受け止め、又曲がりなりにもそれを目標とした国会運営や行政がなされてきたとおもっています。今、日本国憲法の大きな柱が十分に機能できないほど一強という名のシロアリ権力が憲法をむしばんでいます。

杭打ち不足で傾いたマンションのことは関心を持つが、独裁権力で崩壊させられつつある憲法には目を向けたら、怒ったりするいとまもないほど安倍総理率いる自民党内閣は、次から次へと国民に向けた攻撃(政策)を打ち出しています。

憲法違反のなかみの戦争法を、国会法を無視したようなやり方で、一方的に「成立した」と、叫んで幕引きにし、今度は外遊先に原発を売り込みに行く。あちこちで「支援」と称して国民の税金を気前よくばらまく。国内では沖縄県民に基地の負担をこれまででも押しつけながら、「辺野古への移転」を強行しようとする。手先となった大臣たちがよくもまた従うものだ、「県民の権利

を切り捨てて心はチクリともしないのか」と思います。

▼今回ほど選挙の大切さを感じたことはありません。地方選、国政にかかわらず、私たちは自分の権利としての一票を投じ、代弁者としての議員を議会に送り出したはずです。議会内外での議員たちの言動をよく見て、期待に添わない議員や国民主権を害する議員は、バッジを外して貰いましょう。
「〇〇議員は戦争法に賛成した人です」
「△△議員は原発を支持しています」
「□□議員は儲けようとする企業に加勢しています」など、情報交換・井戸端会議の話題にして、次の選挙を国民目線の議員たちでいっぱいにしてほしいものです。

怒りのエネルギーは心にしまっておかないで!

▼「戦争法が」国会審議される頃は、連日のように国会周辺の抗議集会があつていました。長崎でも鉄橋、駅前高架広場などで頻繁に集会がありました。緊急な呼びかけ、夜の集会も多かったのですが、会員さんの怒りのエネルギーが、毎回十四、五人以上の参加となつて心強く思つたものです。「いたたまれずに来た」と、緊急学習会にかけつけてくれた会員さん、「特別委員会議員にハガキを」の行動では二、三枚分の参加がありました。「集会には行けないけど・・・」「せめてと思つて、三枚書きました」「十枚出しました」等の会員さんもおられ、それぞれの怒りが国会に集中したと感じました。会員さんが高齢化している状況で、それぞれに、ふつふつとたぎっている怒りをどう現して貰うか、運営委員会での大きな課題です。

これから『戦争法反対』『沖縄支援』が緊急の取り組みになります。「これならやれるよ」というお知恵を拝借できれば・・・。

世相雑詠 二〇一五 九首

青木 酔虎

○腐つても鯛 武士は喰わねどの自負あれ
ど哀しきものぞ年金生活

○働けど働けど なお低賃金 年金もなき
非正規雇用

○選挙権もらつてとまどう一八歳 酒も
タバコもついでに許すか

○世界中の大小すべての武器を集め
宇宙の果てに棄てに行きたし

○来年は兄貴頼むぞ甲子園
日本一の虎が見たいぞ

○美しき大和魂は健在す
震災地に愛の支援はつづく

○着々といつか来た道迎る国
次の一手は言論統制

○十二桁のマイナンバーの恐ろしさ
気づいた時は後の祭りぞ

○沖縄よ怒れ闘え老いわれも 平和の碑
も応援するぞ

(青木 英夫)

ヨカ余暇生き生きコーナー

「贅沢」な時間

老岐支部 米倉 徹

毎年、中総体前日は朝から市のテニスコートに向き、得点板や放送器具などの準備をした。ここ数年、作業している「まっちゃんるばい」の声が掛かった。ソフトテニスをする私に、退職した早期テニスサークルの大先輩たちからの誘いである。まだまだ先と思っていたが、その時がついにやって来た。

四月、退職と同時に早朝テニスサークルに入会した。大先輩の方々には気を使うが、その中に七十歳代、八十歳代の中学高校時代の恩師が四人元気にプレーをされている。一層プレッシャーが掛かる。朝、テニスコートのそばを通勤の車が通る。ときどき止まって観戦する人も。出勤する人を横目に、ちよっと贅沢な気分、水、金、朝九時からのテニスを楽しんでる。

四月、テニスサークルと共に加入したのが老岐市退教協である。毎月一回、九

日に定例会を開くが、安保関連法案反対の先鋒となった学生団体、SEALDs (シールズ) に負けなく

らいに政権批判がポンポンとび出す。熱気ある若者のサークルのような雰囲気さえ漂う。

新人ながら加入して、さっそく役職がまわってきた。「渉外」係。秋、役目を果たす機会がきた。恒例の親睦研修旅行である。今年はおつての三池炭鉱に行つてみたいとの意見から、「三池炭鉱訪問ツアー」を企画した。

ネットで調べると大牟田市にはボランティアガイドがあることがわかり、申し込んだ。数日たつてガイドから連絡があり、打ち合わせを行った結果、「一時間の見学計画となった。ところが、しばらくして再びガイドより連絡が入り、せつかく遠方から来ていただくのでぜひ・・・を案内したい。すると二時間はかかるのですが」と言われた。他を訪れる計画もあったが、「熱意」に負けた。十一月初旬の平日、世界遺産となった三池炭鉱を訪ねた。



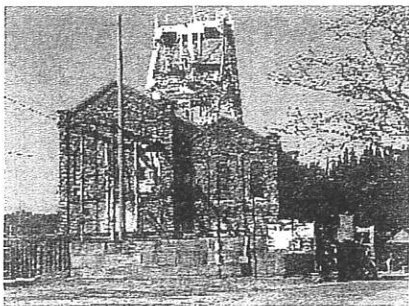
差別の歴史も見たい」とお願いしていたので、コースが増えたのである。結局、案内と説明は二時間半を超えた。ガイドの方へのお礼は老岐焼酎。宿の玉名温泉に到着した頃、辺りは薄暗くなっていた。

テニスに旅行、退職を迎え余暇を満喫していた十月末、突然一本の電話が入った。教育委員会からである。「二か月だけ〇〇小学校に行ってもらえないか」という。小学校免許を持っているとはいえ、二十五年間中学校畑で過ごした私としてはとんでもない話。しかも一年の担任という。もちろん初めは断つたが、すべてお願いしました。先生じかいません・・・受けることにした。

悪戦苦闘の毎日だが、三週間がたつて私も子供もなじんできた。あと一週間で「宇宙人」との生活が終わる。嬉しいような寂しいような・・・

来月からまた「贅沢」な時間が戻ってくる。

テニスにツーリング、野良仕事。そして専業主夫。



平和三題噺

被爆70年の夏から秋にかけての個人的体験の一端である。

(その1) 半旗

「久しぶりに学校で話した。行政当局もだ

が、むしろ学校で話した。行政当局もだ

の長崎原爆資料館が毎月9日にポ

とりの知れたいない。命日は、市民に

切被爆体験の記憶を語り継ぐこと

は2日あり、念に思いつくまで

月9日、平和祈念式、被爆者代表の

行事を通じた人々の胸に刻み込ま

言葉は、一つは、人の胸に刻み込ま

毎日も、一つは、人の胸に刻み込ま

さ日午19時0分、原爆資料館が

域に防犯鶴線、送る情報で、半旗

視覚によらなく、情で、半旗

をよる。この短時間、継承も大

してほしい。そので、くに行政の

「お母さん、今日旗がく。子ど

も同志や親子のこんな会話から、核廃

絶への一歩が生まれるに違いない。核廃

(その2) 第61回パグウォッシュ会

議55年の「ラッセル・アインシュタ

のグロウツシュに個人の資格で集まった

東冷戦の趣旨に賛同する科学者が

イン宣言の趣旨に賛同する科学者が

に上るとかいう。福島の原発事故も議

角、開世界会議は一堂に集まること

に提「原発の是非を問わないこと

前スリマの是非を問わないこと

クシマの是非を問わないこと

を原発の是非を問わないこと

公言動ができた会議で社会的責任を

で開案の定、原発があつたが、原

なた。原子力、全盛り上り、科学者

社会的責任の取り方ではないか。科

・製造は極秘の国家プロジェクトな

で失敗は、長崎型の内爆は、核

を乗員が安全に離脱する訓練を

重た。日本では、9月1日、

行能火死傷者を出した。日本

で多火死傷者を出した。日本

下、福島県には、17日、

2発、福島県には、17日、

た、美名に呼ばれる「核利用

う、放射線汚染された福島

被曝者の数は、4年度まで、

た、放射線汚染された福島

後、被曝地の最後は、(山川剛)

【編集後記】

を、あんな可笑い多量の飾り

は、あんな可笑い多量の飾り

れ、あんな可笑い多量の飾り

の、あんな可笑い多量の飾り

で、あんな可笑い多量の飾り